

第6回 小鹿野町役場庁舎検討委員会（要点筆記）

日 時	平成29年7月20日(木)	開会	午後1時30分
		閉会	午後2時50分
会 場	小鹿野庁舎 第1会議室		
出席者	丸山陽生 笠原憲一 佐藤恭平 原口悟志 井上要作 斉藤 実		
	黒沢裕幸 柴崎好一 坂本好司 町田考子 鷗田静江 柿島佳弘		
	(事務局 高橋総務課長、須藤、田嶋)		
傍聴者	新井富士男		
	(株)日本工業経済新聞社記者		

内 容	
発言者	発言の要旨
	(開会のあいさつ)
総務課長	会議に先立ち、委員の交代がありましたので報告いたします。小鹿野町区長協議会副会長の交代に伴い、石田悦朗様から斉藤実様へ交代されました。また5月17日付けで黒沢一男委員から委員辞退届がありました。7月11日には今井清委員がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。本日の欠席者は5名です。
丸山委員長	では、はじめに議題(1)第5回会議の要旨について委員から意見はありますか。 意見が無いようなので前回会議の議事録と決定いたします。 次に(2)小鹿野町役場庁舎検討委員会報告書(案)について事務局から説明をお願いします。
総務課長	報告書の中身に入る前にお配りのカラー刷りのものをご覧ください。検討案の中で役場の裏に、という意見がありましたので、改めて調べたところ役場裏の斜面が土砂災害警戒区域に指定されており、現在の車庫くらいまでがその区域として指定されておりますので、報告いたします。
事務局田嶋	それではお配りの「小鹿野町役場庁舎検討委員会報告書(案)」をご覧ください。朗読をさせていただきます。 (朗読)
丸山委員長	説明の内容に対して、何か意見はありますか？
柿島委員	カラー刷りの土砂災害警戒区域の関係ですが、建物としてどこまで建てていいのか？黄色いラインから上なのか、赤いラインでも補強すれば建てられるのか？
総務課長	30度以上の急傾斜地の赤い部分上端から10m分が土砂災害警戒区域に入りますので、建築確認の時に、傾斜地から何メートル離すとか、擁壁をつくるとかの縛りがあったとは思いますが。
柿島委員	6頁のB案ですが、他敷地に新築とありますが、実際には現在の敷地内に建てる案なので、例えば「現敷地内に建替え」とし、括弧書きで現庁舎の裏という表現にした方がC案との違いがわかりやすいと思います。あと、A案のデメリットで現庁舎の解体とありますが、これは絶対やらなければならない。でも実はB案も現庁舎の解体が必要になります。裏に建てた後、邪魔になりますし、建築確認上も解体が必要になる。ですから、B案のデメリットとして、現庁舎の解体費用を要するということがあると思います。さらに言うと、B案ですが前回の会議でも敷地が狭くなるんじゃないかという意見がありました。建てるとしたら専門家に見てもらい、本当に建てられるか調べる必要があるし、場合によっては高層化もあるかもしれない。そうした場合、限られた敷地の中に建築するということから、A案に比べて設計の自由度が制限されるというデメリットもあると思います。

笠原副委員長	B案についてですが、土砂災害警戒区域があるところに建てるという案を答申として出すというのは、趣旨の防災拠点になるということから考えてもおかしい気がするので、B案は削除したらどうでしょうか。
黒沢裕幸委員	賛成です。危険住宅にお金を出して移転してもらったことがあるように、役場を敢えて危険なところに建てる必要はない。それとABCDの案の並びですが、C案の三田川中敷地へ新築という意見がかなり多かったかと思いますが、そうした場合、意見の多かったものがA案になるのが妥当だと思いますが。
町田委員	役場裏の急傾斜地の崩壊区域調書をもらいましたが、三田川中もグラウンドも川の近くにあるので、同じような図面があるといいなと思いました。
総務課長	三田川はテニスコートが一部区域に入る程度で、グラウンドと校舎の部分は大丈夫です。
町田委員	三田川は大丈夫ということですね。わかりました。
丸山委員長	ABCD案については、最初この場所から検討に入ったのでA案がここになっていると思います。順序をどうするかは皆さんで検討してもらいたいが、当初から提案を一本にするのではなく、委員会でまとまったいくつかの意見をどれが優劣ということなく答申するという形で進めてきたと思います。
笠原副委員長	そのとおりだと思うので、この4つの案にメリット・デメリットを付け加えるものがあれば加えて、答申するというのでいいのではないかな。ただB案についてはもう一度検討する必要がある。そういう区域に建てる検討を我々がしていること自体がおかしい気がしますし、危ないところへは建てて欲しくないし、建てるなら相当な地盤の工事が必要になるでしょうし。
黒沢裕幸委員	外してもらえばいい。
柴崎委員	外してもらった方がいいと思います。
笠原副委員長	委員長、検討してください。
丸山委員長	こういう場所には何かの方法をすれば建てられるかを調べる方法がありますか？
柿島委員	危ないところに我々の意見として上げるものじゃないという意見は分かります。一方で我々も色々議論したこともあり、その中で挙げた意見のB案をどうするかということですが、現時点でここに本当に建てられるかどうかはわかりません。建築安全センターに聞けばある程度のことはわかると思いますが、例えばここでB案を落とすというのが一つ、建つ可能性があるかを調べるのも一つ。また、今B案のデメリットで地盤対策が必要であると書いてますがさらに、詳細な調査を要し、場合によっては建築不可の場合もあると記載して案の一つとして出すのもあると思います。
丸山委員長	委員会としてはこれも議論してきたことなので、こういう場所であるということを書き加えて出すという方法と、案としては削除するという2つの方法だと思いますが、委員さんの意見はどうですか？
原口委員	せっかく議論してきたわけですから今言われたデメリットを加えて案として残した方がいいと思います。
丸山委員長	委員会で話し合ったB案を残すか、落とすとB案は無かったことになってしまいますが。
笠原副委員長	議事録として、議論したということは残るわけですから、最終的に答申の中には入れないということで。
丸山委員長	答申の形の中でどうしようかということと、もう一つは専門的な機関に確認して、建てるのが可能であれば載せるというのもあると思います。皆さんの意見をいただきたいと思います。
原口委員	B案とD案については、あまり可能性は無いかなと思います。A案とC案の公有地に建てるという2つの案でもいいのかなと思います。議事録には残りますし。
丸山委員長	できるならなるべくいくつかの案を答申に入れた方がいいのではないかな。

柿島委員	我々が議論した議事録は別にあるにしても、この報告書の中にその中の主だった意見を入れるという考えは無いですか？例えばもっと案を絞るべきだという意見があるとすればA案とC案として、B案とD案は主だった意見に入れるというのは可能だと思いますし、絞らずにABCDで行くにしても主だった意見として具体的な意見を入れるという考えはどうですか？
総務課長	作りこみの方法になろうかと思います。どういう形がいいかということで事務局も考えまして、まずパターンは示そうと。その上で、いろんな議論がある中で何が一番議論されたのか、その辺をどう表現したらいいかというところが難しかったので、表現の仕方をみなさんに議論していただいた上でまとめたいと考えていました。今おっしゃられた主だった意見を書くことは可能です。
柿島委員	秩父市の報告書は市民会議で出た主だった意見が書かれています。耐震方法の意見とか、建物の位置とかの意見を述べて最終的にこうなりましたというまとめ方をされていて、これはこれで一つの参考になると思っていて、小鹿野町の方法は基本的には結論を出している。その結論の4パターンについて、それぞれメリット・デメリットを述べている。こういうまとめ方ならなるべく多い案を出した方が良くと思いますし、もし主だった意見を書けるならある程度絞っても意見としては出ているので、これをもらった方はわかりやすいと思います。
丸山委員長	主だった意見を加えるということについて、委員のみなさんどうですか？
原口委員	今出ている4案に加えるメリット・デメリットがあれば加えて、議事録を読み返すのは大変だから主だった意見を書き加えればその方が確かに見やすいかなと思います。
佐藤委員	B案を残してデメリットを書いたうえで、実際にどうするかはその時の判断でいいのではないかな。
黒沢裕幸委員	柿島委員が言うように4案の後にこういった意見が多かったとか、総合的な意見を加えるのがいいと思います。
坂本委員	ここにある4案をすべて残した方がいいと思います。
鷗田委員	私も同感です。
町田委員	いろんな意見が出ていたので、その意見を載せたほうがいいと思います。
井上委員	前回までの流れが新しく建替えるということと既存の施設を利用するという二通りの方法で行こうということだったのでD案も残して、B案については事務局で調べられるのであれば調べてもらえればと思います。
斉藤委員	せっかく4案出ているので、4案は残していただいて、B案については黄色の線まででないと単純に立てるのは難しいと思うので、そうすると敷地が足りなくて相当な規模の敷地確保の工事が必要になるということを入れてもらえばいいのではないかなと思う。
柴崎委員	昔、役場の裏はへこんで、その地形を利用して滑り台をやったりした記憶がありまして、今は埋め土して駐車場になっていますが、確かに危険地域ということはわかります。そこへ建てるというのもどうかとは思いましたが、意見が出たということでD案まで残してもらって、先ほどから言われているように意見を加えてもらえばいいと思います。
丸山委員長	今日出席の委員からは全員意見をいただいたので、再度これを詰めて、欠席の委員には会議資料を送った上で、意見があったら今月中に事務局に出していただいて、最後のまとめをもう一度して答申するというところでどうですか？

柿島委員	同感ですが、さっき私が言ったように、B案についてはしかるべき行政機関に聞いてもらって、それによってはこの黄色の線から上に、例えば10mの範囲は建築不可となった場合は建てられない可能性もある。案としては今B案が残ってあって、次回もあっていいのですが、主だった意見の中で、危惧されることを述べて、またC案については多くの方が賛成という意見も寄せられましたので、そういったことを書き加えることによって、今はAからDまでどれがいいのかわからないものが、案に温度差が出てくるので、主だった意見を加えていただきたい。B案について可能か調べていただいて、次回に場合によっては案から外すということも考えられます。あと、5ページの②で耐震化は当然の話ですが、バリアフリーの上をいくユニバーサルデザインという考え方があります。誰にでもやさしいというこのフレーズを使って、例えば耐震化と共にユニバーサルデザインに配慮した建物とするとかにしたらどうか。そうすれば耐震化のハード面とソフト面が揃います。ただそうすると改修は難しくD案はできなくなるということではありますが、それはそれで仕方ないので。これはあくまでも望ましい姿を述べているところですので、そういう言葉を入れると良いと思います。
総務課長	今の意見につきましては、みなさんにご協議いただかないと書けないのでよろしくお願いします。
丸山委員長	わかりました。今、柿島委員から5ページの②にユニバーサルデザインという言葉を入れたらどうかという意見がありましたが、いかがですか？
原口委員	是非、書き加えていただきたいと思います。
黒沢裕幸委員	ユニバーサルデザインという言葉の意味が読み手にわかりますかね？
柿島委員	※で意味を下段に書けばわかると思います。
丸山委員長	ではみなさん、説明を下段に※で入れて、ここへ書き加えるということでしょうか？
	(一同)お願いします。
丸山委員長	みなさんの意見がそういうことですので、説明を入れて書き加えて下さい。
総務課長	一点確認をさせてください。6ページのパターンのところに主だった意見を書き加えるということで調整したいと思いますが、先ほど、柿島委員から庁舎解体の費用はデメリットになるだろうという意見をいただきましたので、確認ですが、4パターンいずれにしても解体費用が発生するのかなと思います。すぐ解体が必要ないという時系列のことはあるにしても。
柿島委員	おっしゃるとおりです。ただ、私が言うのは、Aはここに建てるので必然的に壊さなければいけない、Bも建築基準法上壊さなきゃいけない、それに現実問題として不要になりますし、とすれば、建替えに伴い現庁舎の解体費用が必要になるとしたらいかがですか？そうすれば差別化が図れます。
総務課長	ありがとうございます。
丸山委員長	では、そのように検討お願いします。それから表記の順番はどうしますか？
黒沢裕幸委員	A案のところにC案をもってくるのがいいのではないかと。それかABCDをやめるとか。
柿島委員	一般的な書き口としては、このパターンの方が知らない人が見た場合、入りやすいのかなと思います。まずは現在地はどうか、というA案から入って、これが難しければ次にB、そして違う敷地はどうかかなという流れの方が知らない人からは素直に入れると思います。今の話は主だった意見でC案が多かったということを述べれば良いと思います。
丸山委員長	では、この流れで主だった意見をいれるということでどうですか？
柿島委員	それか、現在地案で(1)、(2)として移転する案として(1)、(2)としたらいかがですか？
黒沢裕幸委員	それがいいですね。
丸山委員長	では、そのように表記してください。
鵜田委員	三田川の敷地になった場合、ここは壊すんですね。三田川中のところに建てるとなると、ここと三田川中と2箇所を壊すことになり費用が違うと思ったので。

原口委員	この庁舎そのものが今後長く使えないということが根底にあるので、ここを移転したとしても、この庁舎を何かに使うということは出来ないと思う。
総務課長	今の意見を尊重すると、C案のところには2箇所の解体費用が必要になるという書き方を するのも一つの考え方かなと思います。その辺を諮っていただきたいと思います。
柿島委員	C・D案というのはここを少なくとも使わなければいい。数年そのままだでも大丈夫なので。 ただ最後は壊すんですが。使いませんから。ただ、A・Bは壊さなければならないという違い があります。ですから、そこは敢えて言わなくてもいいかなと思います。
丸山委員長	では、そこは細かく書かないということでよろしいですか？
	(一同)はい。
総務課長	今回の意見を反映したものを、建設課や建築安全センターにも確認しながら8月頭くらい までに整理をし、委員の皆さんに事前配布ということで送りたいと思います。直したものを 送らせていただき、意見をもらった方がいいかと思いますがいかがでしょうか？
丸山委員長	今、事務局から提案のあったとおり、調整したものを送りますので、それを見た段階でま た意見等あれば言っていただき、できましたら8月中に最終の委員会を開いてまとめたい と思いますがいかがでしょうか。
	(一同)はい。
丸山委員長	では、議長の座を下ろさせていただきます。
総務課長	ありがとうございました。以上を持ちまして、第6回庁舎検討委員会を終了させていただきます。